

母校はあなたのホームグラウンドであり、校友会・歯学会はあなたのアイデンティティです



女子
バスケットボール部
優勝！



歯学体2連覇の
生命歯学部
硬式野球部

新潟校バドミントン部
女子団体・ダブルス・
シングルス3連覇

第48回歯学体大会開催さる

第48回全日本歯科学生総合体育大会は、昨年12月にラグビーフットボール、今年3月にアメリカンフットボールとスキースキーの冬期3部門が終了し、夏期部門は8月1日に開会式、8月12日に閉会式の日程で開催されました。

今年はちょうどオリンピックイヤーと重なり、リオデジャネイロでの日本選手の華々しい活躍に触発されてか、本学の学生もそれぞれの地で、部門で熱い戦いを繰り上げました。試合では、日頃の講義でみられない学生の姿に新たな発見があります。さらに毎年、学生のためにボランティアで、熱意溢れるご指導をいただいているクラブの顧問の先生、監督、コーチのOBの先生には頭が下がる思いで一杯になります。学生達の努力もさることながら、多くの教職員、校友会の先生に支えられて、部活動が行なわれていることに感謝しております。まだまだ伸びしろのある学生達です。歯学体での活躍を糧に文武両道の学生としてさらなる飛躍を願っているところです。



学生部長
菊池憲一郎

6月26日に結団式が行われました。運動部全部活が集まり夏季歯学大会に向け一致団結しました。

各部活の主将に挨拶をしてもらいましたが、どの部活も優勝を目指していて、熱い挨拶をしてくれ、日本歯科大学が総合1位を本当に取るという気迫を感じました。昨年度の冬季歯学体に出場した各部活動の結果は非常に良かったので、夏季歯学体に出場する各部活動も良い結果が残せるよう健闘を祈っています。僕もサッカー部で夏季歯学体に出場するので、良い結果が残せるようチーム一丸となって戦っていききたいと思います。



平成28年 第48回全日本歯科学生総合体育大会 総合成績一覧

優勝	愛知学院大学歯学部
準優勝	日本大学歯学部
3位	九州歯科大学
4位	大阪歯科大学
5位	日本歯科大学生命歯学部
6位	東京歯科大学
...	
24位	日本歯科大学新潟生命歯学部

部門別成績一覧

●生命歯学部

<冬季種目>		
ラグビーフットボール	第1位	
アメリカンフットボール	第2位	
スキー	第2位	
<夏季種目>		
硬式野球	第1位	
硬式庭球	第9位	
サッカー	第9位	
ゴルフ	第6位	
バドミントン	第2位	
バスケットボール	第3位	
柔道	第5位	
空手道	第4位	
少林寺拳法	第3位	
アーチェリー	第6位	
陸上競技	第6位	
水泳	第8位	

●新潟生命歯学部

<冬季種目>		
スキー	第6位	
<夏季種目>		
サッカー	第9位	
バドミントン	第3位	
ボウリング	第9位	
少林寺拳法	第5位	
陸上競技	第8位	

校友会からのご挨拶 「自主独立」と いう建学の精神

日本歯科大学校友会専務理事
倉治康男



日本歯科大学は、中原市五郎先生によって、1907年6月、公私立歯科医学校指定規則に基づき、わが国最初の歯科医学校として創立されました。この1907年は、小学校の義務教育が6年と定められ、夏目漱石の新聞社での初任給が200円だった明治40年という、学生諸君には想像もつかない時代なのだと推察いたします。歯科医療は黎明期で、「学・技両善にして人格高尚なる歯科医師の養成」を建学の目的としました。以来、歯・顎・口腔の医学を教導(教育)し、学・術・道を兼ねそなえた歯科医師を輩出し続け、歯科医学の進展、歯科医療の向上、患者国民の福祉に尽力してまいりました。

本学は、私学として創立者の「自主独立」という建学の精神を継承し、今年、2016年6月に創立110周年を迎えました。この110年におよぶ歴史と伝統は、本学がわが国の“歯科界の源流”といわれる由縁であります。どうか学生諸君も、この歴史と伝統に誇りを感じ、厳しい修練のもと本学を卒業することに、喜びを覚えていただければ幸いです。



浜浦祭の新企画

ソフトバレーボール大会の開催



今年の浜浦祭は、ソフトバレーボール大会の開催で、多くの人で賑わいました。全学生はもちろん、教職員も対象とし、大学と病院が一体となって楽しめるレクリエーションとなりました。参加は11チーム、総勢約150名が集い、ともに汗を流しました。シートを敷いた観客席では、陽気なBGMがかかり、露店で購入したものを自由に飲食しながら、和気藹々と応援する姿がみられ、たくさんの笑顔と声援に包まれました。来年も開催し、大いに盛況することを願っています。

第45回浜浦祭 今年のテーマは「真実の愛」

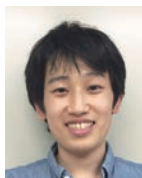
このたび6月11日(土)・12日(日)の2日にわたって開催いたしました第45回浜浦祭は、無事に閉祭を迎えることができました。浜浦祭開催にあたり、浜浦祭実行委員はじめ、体育会、文化会、学術会などの部活動を中心に多くの学生が協力し合い、当日を迎えることとなりました。

今年のテーマは「真実の愛」でした。この言葉は心理学者のアドラーが「他者信頼」「貢献感」を表わす言葉として生まれた言葉であり、生命歯学部として、歯科医師として今一度あるべき姿を体現すべく今回のテーマを設定させていただ

きました。

開催期間中は天候に恵まれ、多くの学生がのびのびと活動できました。屋外模擬店や屋内展示、ソフトバレーボール大会や無料歯科相談といった多くの催しで賑わうこととなりました。

最後になりましたが、浜浦祭を開催するにあたり、ご尽力、ご協力いただきました諸先生方、校友会はじめ地域の皆様、その他、浜浦祭の成功へと尽力していただいた全ての方に厚く御礼申し上げます。



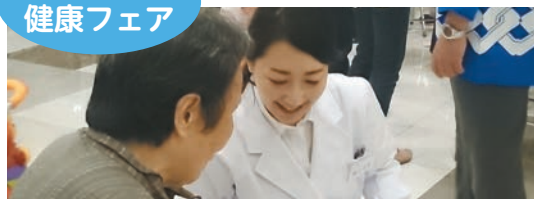
新潟生命歯学部
4年
村戸建宏

Cleaning Volunteer

新潟生命歯学部では学生や教職員の総勢100名を超える清掃ボランティアにより、平成28年6月1日の創立記念日に大学周辺の大掃除が行われました。大学周辺の道路やグラウンドの草むしりやゴミ拾い、部室のある緑館の大掃除を行いました。



歯と口の健康フェア



第37回「歯と口の健康フェア」に参加しました。新潟市と市の歯科医師会主催により、平成28年は6月5日にイオンモール新潟南のマリンコートにて開催され、県内外から、約4000人弱が来場されました。地域の方々の歯科の啓蒙に役立つよう新潟病院の登院生6名がボランティアで参加しました。総合受付から、ガムを使った咀嚼力の判定やその説明、子供達の白衣の着せ替えのお手伝い、本学からの企画でもある口臭測定の説明や来場者のアンケート記載の手伝いなど、幅広く参加いたしました。

アンサンブル部 110周年記念祝賀会でBGM演奏



アンサンブル部は富士見祭での定期演奏会、過去には研修歯科医始業式、終了式での演奏、白菊会総会アトラクション演奏、学会懇親会演奏等で活動しています。今回、創立110周年全国校友大会記念祝賀会で演奏させていただくことは、部員にとっても大いに励みになると思います。曲目もクラシックからポピュラーまで幅広く用意しているそうですので、楽しんでいただければ幸いです。私も顧問として、一演奏者として参加させていただきます。

(アンサンブル部顧問 阿部恵一・85回)

日本歯科大学創立110周年記念祝賀会 アンサンブル部 演奏

2016年 10月22日(土)
記念祝賀会のBGMとして演奏します
(開場13:00~)
場所: 帝国ホテル 2F 孔雀の間

Members

Vn.	田中利沙(5年)	Fl.	赤羽由紀子(4年)
	三村真紀(5年)	Cl.	小坂真月(1年)
	竹下京恵(4年)	Trp.	安藤麻智(1年)
Vc.	渡谷和磨(3年)		杉村真由(4年)
Co.	藤田麻莉沙(3年)	Pf.	鈴木夏志(2年)
	榎原智也(3年)		伴美幸(3年)
			大久保雄太(2年)
			清原歩美(2年)
			佐藤可奈(1年)

顧問 阿部恵一(Va.)
(日本歯科大学附属病院
歯科診療 全管掌任)

<演奏曲>

夜桜お七

やさしさに包まれたなら

レディーズ・マーチ

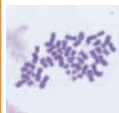
映画「インディ・ジョーンズ」主題曲

etc.



KOYU
Quiz

Q. これは何でしょうか？



KOYU Quizの答え…これはヒトの細胞の染色体です。正常なヒトの体細胞の染色体数は、常染色体44本、同じ種類の染色体2本ずつを22対と性染色体2本、女性性はX、男性はXYの合計46本あります。

こうゆう先輩 第8回

人との出会いの大切さ



東京都中央区開業
岡本 浩 (57回)

「こうゆう先輩」で、私にも学生時代があったことを改めて思い出しました。

私は怠慢な学生でしたが、昔から趣味で英会話のラジオ講座を聞き続けていたことから英語力には多少の自信がありました。当時東小金井にあった大学の学生寮で6年過ごし、寮の先輩の吉田隆一先生(のちに歯科理工学教授)の紹介で1968年5月より米空軍府中基地内の歯科病院に卒業と同時に就職が決まりました。吉田先生の勧めが今日の私の歯科医師人生のすべての始まりです。

米軍歯科病院は変わった勤め先で、す

べてが英語(当たり前ですが)であるとともに、保険診療とは全く異なる歯科治療で、徹底的に最善を尽くすことに焦点を当てた歯科医療を要求され、当時の友人たちにとっても羨ましがられたことを覚えています。当時はベトナム戦争真っ盛りで、私はアメリカのライセンスが無くても日米安保条約のおかげで基地内で一定期間(3ヵ月間)の臨床トレーニング後、米空軍医の先生方と同様に1日当たり5~10名の患者さんの診療を行うことができました。

クリニック全体で軍医は10名以上、多数の軍人アシスタントや歯科衛生士も勤務しており、当時の日本の歯科医院とは全く異なりまさしくアメリカそのものでした。米歯科病院の院長はのちにテキサス大学サンアントニオ校の補綴学教授となったDr. K. Stewart(当時大佐)でたくさんの臨床を懇切丁寧に教えていただきました。次に赴任された院長は歯周病専門医のDr. D. Halliday(当時中佐)で、この出会いで初めてアメリカの本格的な歯周治療に目を見張り、新鮮な驚きを受けました。

米軍に5年間勤務したのち、Stewart教授とHalliday先生の強い推薦のおかげで英国ロンドン大学イーストマン病院の歯周病科に留学しました。英国ではJ.D. Strahan

教授やJ.D. Manson先生の指導を受け、大変お世話になりました。ここでの1年間は歯周病学全体像の理解に大いに役立ちました。コース終了後にスウェーデン・イエテボリ大学歯周病科に留学し、Lindhe教授、Nyman教授の指導下で4年間にわたって臨床、研究そして学生指導に携わりました。留学中のエピソードや思い出は膨大過ぎるので省略しますが、先日スウェーデンでこの当時に指導した学生たちと再会し、思い出話に花が咲きました。卒業後10年間の修行を経て日本歯科大学歯周病科に勤務し、その後奥羽大学歯学部保存学教授として18年勤め、大学勤務にピリオドを打ちました。現在は学生時代の念願だった開業医として日本橋区人形町で歯周病専門医として開業しております。

私の人生とキャリアは全て人との出会いと助け合いでもたらされたものであり、この40年を振り返ると今があるのはその時々温かく指導し、見守ってくれた先人との出会いがあったからこそと日々感謝しています。私が若い人たちに伝えたいことは「人との出会いがすべて」人生を左右するものはこの一言に尽きます。

千葉県人会開催の報告

平成28年5月13日(金)午後6時30分より、飯田橋ラムラ20階の「北海道」にて千葉県人会が開催されました。今回、千葉県校友会会長の中村幸成先生(61回)をはじめとした7名の校友会会員の先生方と三代冬彦病院長(72回)を含めた大学内の先生方7名・平賀泰先生(68回)、宮坂孝弘先生(75回)、小川信太郎先生(97回)、麻生真希先生(103回)、三代沙季先生(104回)、大学院生の澤野和生先生(103回)、研修医の先生方4名、新入生8名を含む在学生28名の総勢43名が集いました。

3年生の宮坂直樹さんの司会・進行で始まり中村校友会会長ご挨拶の後、三代附属病院院長が乾杯の音頭をとられ、賑やかに千葉県人会が始まりました。

開始すると校友会の先生方が学生へ声をかけてくださり、新入生もすぐに打ち解ける事ができました。在学生は学年の隔たりなく話をしたり、卒業生の先



生方とは出身地の話をしたり、先生方が在学されていた時代の大学や部活動の様子を聞かせていただきました。また、卒業後は千葉県での開業や勤務を志す学生も多くおり、興味があっても中々学ぶことのできない実際の地域での歯科医療についてなどお話を聞かすことができました。

千葉県での医療の現状や私たちが将来あるべき歯科医師像を間近に感じることができ、大変有意義な時間を過ごすことができましたことを、在学生一同感謝しております。

そして、「君たちが千葉県に戻ってきた時に、何かあった声をかけてね。そしたら、力になってあげるからね」、「実習で学校に行ったりするから、声をかけてね」とおっしゃってくださった先生方の存在は私達にとって大変大きな心の支えとなることと思ひ、先生方との大変貴重な交流に感謝しております。千葉県人会を通じて多くのご活躍されている先生方からお話を伺うことができ、日々学ぶ事の大切さや地域医療を行ううえで同じ地域で働く仲間との連携がいかに重要であるかということをも再認識する貴重な機会となりました。



生命歯学部4年 角田優子

図書館からのお知らせ

生命歯学部

●図書館開館情報

試験のための平日開館時間延長

9月28日(水)～10月5日(水)/9:00～21:00

11月24日(木)～12月22日(木)/9:00～21:00

1月5日(木)～2月3日(金)/9:00～21:00

ただし、大学入試のため学生立入禁止の日もあります。

試験のための土曜日開館(開館時間 10:00～17:00)

10月1日(土)/11月26日(土)

12月・1月も行う予定ですが日程が決まっております。

蔵書点検のための開館時間変更

10月12日(水)/11月9日(水)/17:00～20:00

年末仕事納め 12月28日(水)/9:00～17:00

冬期休暇 12月29日(木)～1月4日(水)

図書館のお知らせで開館日をご確認ください。

●企画展示のお知らせ

図書館員が選ぶ図書

10月：学長先生の小説紹介／11月：動物のは

12月：医学のミステリー／1月：女性歯科医

新潟生命歯学部

●図書館開館情報(平成28年10月～)

平日 9:00～20:00

土曜日10:00～17:00

10月12日(水)・11月9日(水)・12月14日(水)は開館時間が12:00～20:00です。

また、12月28日(水)は大掃除のため、12月29日(木)～1月4日(水)は年末年始一斉休暇のため閉館になります。

試験前開館時間の延長は1月16日(月)～2月後期試験終了までを予定して、開館時間は8:00～21:00になります。

診療室での物語

カルテ No.13

私の診療室



神奈川県茅ヶ崎市
「わたらい歯科クリニック」
2011年開業
渡来亮太
(89回)

僕が日本歯科大学新潟生命歯学部を卒業したのは今から15年前の2000年です。卒業後、何処で勤務医として働くかを迷っていた際、「湘南」というブランドの響きに惹かれて、茅ヶ崎市の歯科医院にて勤務医として働き始め、また同じ茅ヶ崎市で「わたらい歯科クリニック」を開業しました。

茅ヶ崎を選んだ自分の直感は正しかったと今は実感しています。茅ヶ崎は、なんとといっても、海に近く、少しのんびりしているというのが、最大の魅力だと思います。また、天候が安定していて、大雨とか台風等がほとんどないのも良いところです。僕と同じように茅ヶ崎という街に憧れを持って住み着いた人が多いので、サーフィンなどのマリンスポーツを愉しんだり、海でBBQをやったりと、いわゆ

る湘南ライフを積極的に愉しもうという雰囲気がある街だと思います。僕も、診療前の早朝など波の良い日には、サーフィンを楽しんでいます。また、僕には子供が3人いるのですが、商業施設や病院、教育施設も充実しているので、茅ヶ崎は子育てにもピッタリな街だと思います。

今思い返せば、卒業直後の僕は、仕事以外は大学生活の延長で、ただ歯科治療をこなし、お給料を貰い、遊ぶという日々を過ごしていました。その頃の僕が唯一、情報を得たり学ぶことが出来た場所と言えば、大学の同級生や、自分が所属していたヨット部の先輩後輩と会う機会でした。ここでは通常なら少々聞き難いことでも、背伸びをせず何でも聞くことができました。こういった学生時代に培った繋がりは、卒業後もさらに広がっていくもので、本当に校友という「ほっとできる」この繋がりに感謝しています。何とといっても、心を許せる人達と飲むお酒は楽しいものです。最近では部員が集まらず休部になる運動部もあると聞きます。僕は、6年間ガッツリ没頭したヨット部があったからこそ、卒業後もその繋がりに救われたことが多々あります。今の学生さん達に、そういう関係がなくなるの

はとても残念でもあり、少し心配でもあります。

卒後7年目まで、歯科医師として自己研鑽するという意識に欠けていた僕に、自ら進んで勉強し続けなければ!という衝撃を与えてくれたスタディーグループとの出会いが巡ってきました。それは、本学61回卒の波多野尚樹先生が主幹を務める「MAXIS Implant Institute」です。ここで多くの科学的データに基づくブローネンマルクインプラントの技術とインプラントを含めた包括歯科医療について、大学の同級生や先輩後輩と共に学びました。

そして卒後11年目の2011年に自身のクリニックを持つに至りました。開業準備においても、医院の内装からユニットの配置、診療器具機材についても細かく相談に乗ってくれたのは、やはり、既に開業している同級生や先輩後輩でした。開業してからはチャレンジの連続です。どうしたら多くの患者さんに来院してもらうことができ、また治療に対する安心感や満足度を高められるのかなど、試行錯誤を繰り返し、少しずつですが自身も医院も成長していると感じています。ただ辛いと思ったことはなく、今もまだまだ通過点ではありますが、

ひとつひとつのチャレンジは楽しく、やりがいもあります。

さて、当院では一般歯科、矯正、インプラント、ホワイトニング、小児歯科まで総合的に行っていますが、「すべては患者さんの健やかな身体と笑顔のために」をモットーに、患者さんのプライバシーを重視し、小さな子供も、また小さい子供がいて受診を躊躇していたという方も、安心して来院できる医院づくりにも力を入れています。詳しくは当院のホームページを見て下さい(<http://watarai-dc-2k.jp/>)。これからも、ここ茅ヶ崎の地で、地域に根差した歯科医療が提供できるよう、日々努力をしていく覚悟です。

最後に、茅ヶ崎ならではの「私の診療室」ということで、サーフィンを通じて知り合った方がデザインした当院オリジナルのおしゃれで評判がかなり良い、ステッカーを紹介させていただきます。このステッカーをサーフボードに貼って将来プロサーファーを目指す地元の子供達もいることが僕のちょっとした自慢です。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

